

第5回公共交通研究会概要

- ✓ 日時：2024年5月29日（水）14時～16時 所：海運クラブ2308号会議室
- ✓ 出席者：淑徳大学コミュニティ政策学部松野由希准教授
長谷先生、大川（座長）、高橋、光多

議事概要

- 1, 添付資料で松野先生が講演。その後質疑
- 2, 松野先生論点概要
 - (1) これまでの研究会では、制度論、サプライサイドの立場に立った議論が多かったが、松野先生は利用者の立場からの研究を続けている。そこで、利用者目線からの地方公共交通問題について話していただいた。
 - (2) タクシー事業の規制について
 - ① 規制緩和後に次の点が認識された
 - ・ タクシー事業の収益基盤の悪化
 - ・ 運転者の労働条件の悪化
 - ・ 違法・不適切な事業運営の横行
 - ・ 道路混雑等の交通問題、環境問題、都市問題
 - ・ 利用者サービスが不十分(地理不案内等)
 - ② 特措法による減車の仕組み(2009)
 - ・ 国土交通大臣による特定地域の指定
 - ・ 国土交通大臣による基本方針の策定
 - ・ 地域の協議会による取組み：地域計画の作成
(乗り場の整備等利用者サービスの充実)
 - ・ タクシー事業者による取組み：特定事業計画の作成(計画に減車等を記載)
 - ③ タクシーサービス向上法(2013)
 - ・ 国土交通大臣が指定する一定の地域(特定地域)において、参入・増車規制・供給量の削減措置として、当該地域での新規参入・増車の禁止
 - ・ 公定幅運賃を定め、その幅の範囲内で事業者が届出
 - ・ 協議会での減車等に係る協議については独禁法の適用除外
 - ④ 規制緩和で値下げは進んだか
 - ・ 全般的に値下げ都市は少ない。利用者増を促せなかった。
 - ⑤ 需要側の分析まとめ
 - ・ タクシー運賃の値下げによって、タクシーの利用が増加する。
 - ・ 需要に最も多き影響を及ぼすのは、景気動向よりも4キロ運賃
 - ・ 規制緩和が実施され、運賃設定が自由になっているにも関わらず、実質的に値下

げを行った地域は少ない。それが需要の伸び悩みにつながっている。

⑥ 運賃に影響を与える要因

- ・上位事業者の市場支配力により価格が上がる。
- ⇒大手事業者が価格決定に大きな影響を及ぼす関連性
- ・地域の所得が高ければその費用を賄うために値上げする。

(3)1970年代のタクシー事業に関する自由化提案

—1971年8月20日運輸政策審議会「大都市交通におけるバス・タクシーのあり方、およびこれを達成するための方策」—

- ・タクシー事業に対する参入・退出および運賃に関する大幅な規制緩和の推進を提唱
- ・運賃：乗客の利便について制約を課した中で自由に設定できる自由運賃の採用
- ・参入：免許などで規制せず資格要件に適合した者は、参入脱退を自由にすべき
- ・「車両運用の責任」と「車両保有の責任」との分離（実車率と実働率の分離）
- ・「車両運用の責任」と「車両保有の責任」との分離実車率と実働率の分離

① メリット

- ・車両の運用と保有の責任を分けることで、ドライバーと車両に競争原理を導入することができる。
- ・空車を通じて増車の責任が明確になる。
- ・ドライバーの貢献が直接的に明らかに

② デメリット

- ・配車の調整コストがかかる？
- ・ウーバーは既にできている、他の事業者もできるのでは？
- ・そのノウハウを持つ事業者が有利に。大規模化が進むか
- ・24時間営業の義務が果たせない？
- ・公共性があるのでその時間帯のみ運営補助を入れる。
- ・ドライバーが車両を雑に扱って愛着を持たない？

③ 上下分離の可能性

- ・法人タクシーが機能する以前の提案だが重要
- ・いつも労働者の賃金が問題視される
- ・平均年齢 58.4 歳
- ・しかし廃業する事業者を聞かない
- ・法人タクシーが法人であることの義務を果たしていない(歩合制、増車が唯一の営業戦略・・・)
- ・人材不足のガラスの天井はタクシー業界にもくる
- ・強制減車ではない可能性を探るべきでは

- ④ 新全総時に全国交通体系の議論が行われた一環での議論と考えられるが、大変興味深い。

3. 議論

(1)1951年道路運送法施行時の議論。

- ・これとタクシー業との家計はどうであったか。

(3) 都市と地方のタクシー

- ・都市と地方のタクシーは役割等が異なるので別々に議論すべきではないか。

(4) ビジネスと公共性

- ・特に地方のタクシーはビジネスモデルか公共財か。

(5) デマンドバスとタクシー

- ・デマンドタクシーもある。バスとタクシーの区別をどうするか。

(6) ライドシェアについても日本での着地がおかしいのではないか。マスコミも安全性ばかりを報道している。

(以上)